

## 令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、政府対策本部から埼玉県全域に対して改正インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が2回（期間：令和2年4月7日～5月25日、令和3年1月8日～3月21日）発出された。

緊急事態宣言期間はもとよりその期間外においても新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るため、当協会は産業廃棄物講習会の中止など当初予定した一部の事業の中止を余儀なくされ、協会事業は大きな影響を受けた。

こうした状況の中、当協会では、環境への負荷が少ない持続可能な「循環型社会」を形成するためには、産業廃棄物処理業界の「環境産業」としての自覚と健全な発展が不可欠であるという認識を基本として、産業廃棄物の適正処理と再資源化等に関する諸事業に工夫して取り組んだ。協会による初の取組となったオンライン方式による労働安全衛生大会、収集運搬業研修会、実務研修会の実施はその一例である。

令和2年度においては、非営利型一般社団法人として、定款に定める次の5つの事業を県などの支援のもとに実施するとともに、新型コロナウイルス感染拡大に伴いその対応のための事業を新たに実施した。

### I 産業廃棄物の適正処理等に関する調査研究、普及啓発、指導相談等事業

廃棄物処理法の運用、技術、業界情報を把握するとともに、マニフェストの普及促進、会員・排出事業者等からの相談等に対応した。また、4地区懇談会の開催による行政との信頼関係の醸成、通知・会報けやき・協会だより・ホームページによる適切な情報提供に努めた。重点事業としての労働安全衛生対策、県と連携した「3S運動」を推進した。

### II 適正処理に関する研修会、講習会及び人材育成事業

法令の改正、優良処理業者の育成などの課題に対応するための研修・講習の充実に努めた。人材育成については、青年部会・女性部会の研修・交流事業、新入社員の定着等を目的とした「環境産業合同研修会」を県と共同開催した。

### III 不適正処理対策に関する環境保全事業

さいたま環境整備事業推進積立金（けやき積立金）の保全を図った。本年度は、対象となる事案がなかったことから事業を実施しなかった。

### IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

本年度は当事業による処理支援対象となる災害が発生しなかったが、令和元年台風19号の際の災害廃棄物処理支援の経験を共有し今後に生かすため、災害廃棄物処理支援研修会を実施した。また、近年多発する自然災害に備え、災害時支援体制の強化を図るため、支援可能な資機材に関する調査を行うとともに災害時の初動緊急対応に係る地区別班体制の見直しを行った。併せて地区別班体制における連絡網を整備した。

## V 地方公共団体等からの受託事業

県外産業廃棄物事前協議制度に係る受付事務及び産業廃棄物処理業者、排出事業者、処理業新規採用者を対象とした実務担当者研修会業務を県から受託し実施した。

## VI 新型コロナウイルス感染拡大に伴い新たに行った事業

本年度第 1 回目の緊急事態宣言が発出された当時に行われた全国産業資源循環連合会によるマスク卸売りに対応して協会による会員向けマスク販売を緊急的に実施するなど、新型コロナウイルス感染拡大に伴い必要な事業を新たに行った。

令和 3 年 3 月 3 1 日現在の協会会員数は、正会員 3 9 4 社、及び賛助会員 4 9 社、計 4 4 3 社である。

## I 産業廃棄物の適正処理、再生利用及び資源循環等を推進するための調査研究、普及啓発並びに、相談、指導助言等に関する事業

### (1) 調査研究

- ・産業廃棄物の適正処理と再資源化などに関する法令、技術、業界情報の収集を行うとともに、太陽電池モジュールのリサイクル協議会の事務局の一員として、県と連携した調査研究を進めた。

- ・廃棄物処理施設の視察研修

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・太陽電池モジュールのリサイクル協議会

第 1 回 令和 2 年 8 月 2 5 日 埼玉会館

第 2 回 令和 3 年 3 月 2 2 日 WEB

### (2) マニフェスト制度の普及促進

- ・令和 2 年度における紙マニフェストの頒布実績は次のとおりである。令和元年度比で 1 1 % の減少となった。

1) 産業廃棄物マニフェスト 2 5 5, 7 0 0 部

2) 建設系廃棄物マニフェスト 1 9 3, 0 0 0 部

合 計 4 4 8, 7 0 0 部

- ・電子マニフェスト導入実務研修会 ((公財) 日本産業廃棄物処理振興センター委託)  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止

### (3) 相談指導・普及啓発

- ・令和 2 年度における会員や排出事業者、県民から相談等件数は約 3, 0 0 0 件に上った。会員等の処理業者からの相談に対しては、行政との連絡のもと適切な指導・助言に努めた。排出事業者等からの相談については、会員の処理事

業者を紹介するなど適正な処理の促進に努めた。

・啓発事業としては、法令の運用、事故・災害防止に関する通知等のほか、会報「けやき」の年2回発行、「協会だより」の隔月発行、協会ホームページの充実などによる適切な情報提供に努めた。また協会ロゴマークを作成した。

会報けやき No. 85 令和2年8月発行 700部

(特集 新型コロナウイルス感染拡大への対応と国・県などの支援策)

会報けやき No. 86 令和3年2月発行 600部

協会だより 令和2年4月、6月、10月、12月発行 各500部

協会ホームページアクセス数(年間) 約37,800

・会員企業の産業廃棄物処理業許可の期限管理に資するため、許可満了期限に関する事前通知を行った。

許可満了期限の事前通知 182通

#### (4) 産業廃棄物適正処理の推進

・重点事業の労働安全衛生対策については、協会労働災害防止計画に基づき、労働安全衛生大会・研修会をオンラインで実施するとともに、現況調査、ポスターの作成・配布を行った。また、労働安全標語、ヒヤリハット事例を募集した。加えて、本年度初の取組として安全衛生パトロールを実施した。

・会員の多くを占める収集運搬業を対象とした収集運搬業研修会をオンラインで実施した。

・事業系産業廃棄物の適正処理の推進については、排出事業者団体である埼玉県環境保全連絡協議会と感染性廃棄物の処理等に関する情報交換を行った。

また、建設系廃棄物処理懇談会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

・県と連携して「産業廃棄物処理業者3S運動」(スマイル・セイケツ・スタイル)を推進し、会員会社等における優れた取組に対しては、県知事表彰が行われた。

・当協会独自の事業としての4地区懇談会を、県産業廃棄物指導課と各環境管理事務所、各政令市の支援のもと開催し、行政担当者と会員との意見交換を通じて信頼関係の醸成を図った。

・協会の各事業については、各担当事業委員会において企画、検討して事業を進めた。

・連合会や関係諸団体、国などとの交流事業等を行った。

主な事業活動は次のとおりである。

##### 1) 労働安全衛生対策の推進

① 会員等に全国安全週間、衛生週間の通知、ポスターを配布

令和2年6月、9月

② 労働安全衛生大会の開催(オンライン実施)

令和3年3月

講演1 「作業の危険ポイントを見つけて、安全対策をたてよう！」

講師 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 二階堂久氏

講演2 「埼玉県内の廃棄物処理業での労働災害発生状況」

講師 埼玉労働局 布施武雄氏

③ 会員企業における労働安全衛生現況調査実施 令和2年11月

④ 会員企業に対する事故防止の主な通知 3回

⑤ 安全標語、ヒヤリハットの応募

標語295作品 ヒヤリハット事例71件

⑥ 労働安全衛生関係表彰

・安全優良職長表彰

飯塚崇夫(亀井産業(株))

小川秀男(東武商事(株))

田中和成(株クリーンテックサーマル)

村田博(株タカヤマ)

・安全優良事業所表彰 (株クワバラ・パンぷキン)

⑦ 安全衛生パトロール(令和2年度新規事業) 対象:会員企業4社

## 2) 事業系・建設系廃棄物適正処理の推進

① 収集運搬業研修会

開催 令和3年3月(オンライン実施)

講演 「ドライバーが知っておくべき廃棄物処理法の基礎知識」

講師 県産業廃棄物指導課

事例発表 (株タカヤマ)

② 環境保全懇談会

環境保全連絡協議会(排出事業者団体)と協会・行政との意見交換会

開催 令和2年12月18日 埼玉会館

議題 感染性廃棄物の処理について

出席 県、環境保全連絡協議会員、事業系廃棄物処理推進事業委員

③ 建設系廃棄物処理関係懇談会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

## 3) 3S運動の推進

① 3S運動推進協議会

令和2年8月21日 埼玉会館

令和3年3月25日 WEB

② 3S運動最優秀等知事表彰

表彰式 令和2年12月22日 あけぼのビル

最優秀賞 スマイル賞 (株クマクラ

(株シタラ興産

セイケツ賞 (株シタラ興産

スタイル賞 前田道路(株)

奨励賞 スマイル賞 (株ヤマエンタープライズ

セイケツ賞 (株クマクラ

新和環境(株)

スタイル賞 化研興業(株)

特別賞 スマイル賞 日興サービス(株) (株)セオス  
 セイケツ賞 アサヒプリテック(株) (株)アルファサポート  
 (株)ワイエムエコフューチャー  
 スタイル賞 (株)ヤマエンタープライズ

4) 地区懇談会（県・政令市と協会の意見交換会）

- |   |          |            |           |       |
|---|----------|------------|-----------|-------|
| ① | 北部・秩父地区  | 令和2年10月19日 | 熊谷文化創造館   | 出席31名 |
| ② | 西部・東松山地区 | 11月6日      | ウエスタ川越    | 54名   |
| ③ | 東部・越谷地区  | 11月26日     | 春日部市民文化会館 | 46名   |
| ④ | 中央地区     | 12月4日      | さいたま共済会館  | 35名   |

5) 事業委員会

- ①調査研修事業委員会（松澤敏也委員長）
  - ・開催 令和2年8月（書面開催）
  - ・議事 事業実施方針、災害廃棄物処理支援体制、産業廃棄物講習会、産業廃棄物処理施設の視察研修、実務担当者研修会等について
- ②労働安全体制整備事業委員会（野寺貴之委員長）
  - ・開催 令和2年9月（書面開催）
  - ・議事 安全衛生パトロール、表彰制度創設、安全衛生規程の作成促進、労働安全衛生大会、標語募集について
- ③収集運搬活性化事業委員会（福田寛栄委員長）
  - ・開催 令和3年2月（書面開催）
  - ・議事 収集運搬業研修会について
- ④普及指導事業委員会（木下公次委員長）
  - ・開催 令和2年7月20日 さいたま共済会館
  - ・議事 事業実施方針、会報「けやき85号」の編集、地区懇談会の開催、協会ロゴマークの検討等について
- ⑤事業系廃棄物処理推進事業委員会（山口徹委員長）
  - ・開催 令和2年12月18日 埼玉会館  
環境保全懇談会【前掲】
  - ・議事 感染性廃棄物の処理について
- ⑥建設系廃棄物処理推進事業委員会（熊倉毅委員長）
  - ・開催 令和3年3月（書面開催）
  - ・議事 課題の把握・調整について
  - ・建設系廃棄物処理関係懇談会【前掲】
- ⑦表彰事業委員会（関根執委員長）
  - ・開催 令和3年3月（書面開催）
  - ・議事 令和3年度協会・連合会表彰について
- ⑧さいたま環境整備事業関係業者選定委員会  
該当案件なし

## 6) 関係団体及び行政との会議・交流等

- ① 協会令和3年賀詞交歓会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- ② 公益社団法人全国産業資源循環連合会関係
  - ・第10回定時総会 書面決議
  - ・産業廃棄物と環境を考える全国大会  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・令和3年賀詞交歓会  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・全国正会員会長会議  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・全国正会員事務責任者会議  
第1回：令和2年9月18日（中止）  
第2回：令和3年2月5日（WEB）
- ③ 関東地域協議会関係
  - ・第64回協議会 令和2年8月（書面開催）
  - ・第65回協議会 令和2年10月8日 飯田橋ホテルグランドパレス
  - ・協議会事務責任者会議 令和2年10月28日 東京都協会会議室
- ④ 関係団体会議
  - ・埼玉県環境保全連絡協議会  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・埼玉県不正軽油撲滅対策協議会（書面開催）
  - ・不正軽油撲滅街頭キャンペーン  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・埼玉県フロン回収・処理推進協議会（書面開催）
  - ・埼玉県過積載防止建設団体連合会  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・埼玉県防犯まちづくり推進会議（書面開催）
  - ・暴力追放・薬物乱用防止県民大会  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・一都三県建設混合廃棄物意見交換会 令和2年3月2日 エッサム神田ホール  
議題 特殊品目名称の標準化実務運用のため従業員教育と建設廃棄物業界のDX構想

## II 産業廃棄物の適正処理に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

### (1) 協会主催及び県との共催の講習会

- 1) 適正処理講習会（県・協会共催）  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 2) 産業廃棄物講習会（協会主催・県ほか後援）  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止

## (2) 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

新型コロナウイルス感染拡大のため、本年度はすべてオンライン講義と会場試験を組み合わせて実施する暫定講習会となった。暫定講習会は延べ46回開催され受講者総数2,010人であった。すべて、さいたま共済会館（6階ホール）で実施された。以下、試験日程等を示す。

### 1) 新規／収集運搬課程

令和2年9月1日、2日、16日、17日、10月21日、22日、  
12月9日、10日、令和3年2月3日、4日、3月2日(2回)  
延べ12回 受講者601名

### 2) 新規／特管収集運搬課程

令和2年8月31日、9月15日  
延べ2回 受講者20名

### 3) 新規・処分課程・収集運搬（同時）

令和2年8月31日、9月15日  
延べ 2回 受講者26名

### 4) 特管新規・処分課程・収集運搬（同時）

令和2年8月31日、9月15日  
延べ 2回 受講者6名

### 5) 更新／収集運搬課程

令和2年9月1日、2日、3日、16日、17日、18日、10月23日(2回)、  
12月9日、10日、令和3年1月28日、29日、3月3日、4日  
延べ14回 受講者716名

### 6) 更新／処分課程・収集運搬（同時）

令和2年9月3日、18日  
延べ2回 受講者44名

### 7) 特別管理産業廃棄物管理責任者

令和2年9月1日、2日、16日、17日、10月21日、22日、  
令和3年1月28日、29日、2月3日、4日、3月3日、4日  
延べ12回 受講者597名

## (3) その他の研修事業

- ・法令、安全衛生、処理技術、新規採用者に係る実務担当者研修会をオンライン方式（法律コースは1回のみ対面方式）で実施した【後掲】。
- ・収集運搬業研修会をオンライン方式で開催した【前掲】。

## (4) 廃棄物処理業に係る人材育成

- ・法令・技術面に習熟した人材の育成、後継者の育成等を図るため、青年部会は、勉強会、施設研修会、全国組織との交流事業などを実施するとともに、協会総会などに主体的に協力した。
- ・女性の視点から業界の活性化に寄与するという趣旨から、女性部会では、勉

強会、関東地域協議会女性部会の交流事業への協力等を行った。

・新入社員の定着とモチベーション向上のため、県と共催で「環境産業合同研修会」を実施した【後掲】。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため、本年度は「環境産業合同入社式・名刺交換会」は中止となった。

・新型コロナウイルス感染拡大のため、連合会の「産業廃棄物処理検定」は中止となった。

・会員及び会員企業の優れた功績などを称える表彰制度として、功労者、優良事業所、優良従業員の顕彰を行うとともに、連合会の表彰規程に基づく表彰への推薦を行った。

主な事業活動は次のとおりである。

#### 1) 青年部会活動（斉藤康祐部会長）

- ・第11回カンファレンス in 埼玉（全国青年部会長会議）

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・関東ブロック総会・講演会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・環境産業合同入社式・名刺交換会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・総会 令和2年6月26日 WEB開催

- ・新型コロナウイルス感染症に関する県への寄附

令和2年7月29日【後掲】

- ・勉強会

令和2年6月21日 さいたま共済会館

「事業所等における省エネ対策」

講師 日本テクノ(株)西埼玉営業所

令和2年10月23日（調査研修事業委員会との共催） 埼玉会館

「SDGs取組のために我々ができること」

講師 三井住友海上火災保険(株)

- ・「県民の日」出展

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・施設研修

令和2年12月11日 (株)シタラ興産サンライズ深谷、埼玉原リサイクル(有)

#### 2) 女性部会（栃原綾子部会長）

- ・総会 令和2年5月19日 書面決議

- ・合同入社式・名刺交換会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

- ・研修会 令和2年7月21日 さいたま共済会館

「3S運動の推進について」

講師 県環境部産業廃棄物指導課

「新型コロナウイルス対策について」



講師 県越谷環境管理事務所

- ・施設研修 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
  - ・全国大会 令和2年11月27日 「第9回女性部会つどい on the Web」
  - ・関東地域交流会／女性部会交流会 新型コロナウイルス感染拡大のため延期
- 3) 環境産業合同入社式・名刺交換会 (県・協会共催)  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 4) 環境産業合同研修会  
県委託実務者研修会【後掲】
- 5) 産業廃棄物処理検定 (連合会委託)  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 6) 表彰事業 (以下、敬称略・順不同)
- ① 循環型社会形成推進功労者等表彰受賞者  
産業廃棄物関係事業功労者等環境大臣表彰 高澤謙之 (株式会社千佳)
- ② 埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰受賞者
- ア 功労者知事表彰  
関根執 (株式会社協和清掃運輸)
- イ 環境衛生功労者環境部長表彰  
木下公次 (株式会社木下フレンド)  
石坂典子 (石坂産業株式会社)
- ウ 優良従事者環境部長表彰  
矢島孝昭 (ウム・ヴェルト株式会社)  
諏訪寿洋 (株式会社丸栄)
- ③ 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰受賞者
- ア 功労者表彰 該当なし
- イ 地方功労者表彰  
磯部公信 (松田産業株式会社) 君島憲児 (株式会社ジェップ)  
増尾孝義 (株式会社増尾リサイクル) 宮田茂信 (株式会社ケイ・エム環境)
- ウ 地方優良事業所表彰  
株式会社猪俣産業 株式会社遠藤商会  
株式会社フジタ環境 メタルリサイクル株式会社  
若宮商事株式会社
- エ 優良従事者表彰  
小川淳介 (株式会社猪俣産業) 上藪 正 (首都圏産業株式会社)  
川瀬利明 (株式会社ミヤタ商事) 久貝盛勝 (株式会社キョクゾウ)  
佐藤勇人 (株式会社エス・イーティ) 鳴澤孝浩 (株式会社栄進)  
平塚久義 (株式会社行田クリーンパック) 堀野宣子 (亀井産業株式会社)  
三角敏彦 (埼玉産業株式会社)
- ④ 一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰受賞者
- ア 功労者表彰  
栃原景春 (株式会社ホートー) 宮下智則 (株式会社システムアロー)

宮田仁史（株式会社ケイ・エム環境）      山口能弘（株式会社山口組）  
渡部高大（株式会社万力）

イ 優良事業所表彰

株式会社栄進      株式会社オオマツ興業  
株式会社加瀬興業      三立建設株式会社

ウ 優良従業員表彰

今井洋太（株式会社イタバシ）      内山緑（株式会社内山商事）  
金子謙治（株式会社国分商会）      川目慎一（株式会社協和清掃運輸）  
沢田一美（株式会社エコクリエイト）      鈴木秀光（野崎興業株式会社）  
染野昌俊（亀井産業株式会社）      高橋尚（武蔵野金属株式会社）  
中野敏一（株式会社加藤建設工業）      橋本正樹（ウム・ヴェルト株式会社）  
藤丸三紀（協栄興業株式会社）      宮村勝富（JWケミテック株式会社）  
米澤英治（クリーンシステム株式会社）      横山俊一（株式会社木下フレンド）  
吉田正弘（株式会社ショーモン）

### III 産業廃棄物の不適正処理対策に関する環境保全事業

#### (1) けやき積立金の運営・管理

##### 1) 令和2年度けやき積立金会計

廃棄物の山の撤去等による生活環境の原状回復・保全事業の推進に活用することを目的に、「さいたま環境整備事業推進積立金(けやき積立金)運営委員会」において運営・管理されている「けやき積立金」の、令和2年度における収支は次のとおりである。

##### ① 収入の部

ア 埼玉県補填金	0円
イ 市長村補填金	0円
ウ 市長村分担金	400,000円（行田市）
エ 協会からの繰入金	200,000円
オ 雑収入	1,399円
収入合計	601,399円

##### ② 支出の部

該当案件なし

③ 令和2年度収支差額      601,399円

④ 令和2年度末積立金残額      513,889,640円

##### 2) 運営委員会の開催

該当案件なしのため未開催

#### (2) 不法投棄等不適正処理廃棄物対策

・けやき積立金による事業は、「共同撤去事業」、「放置事案改善事業」及び「小規模投棄廃棄物撤去事業」であり、県や関係市町村が必要性を認め、けやき積立

金規程に基づき協会に協力を要請された場合、同運営委員会の承認及び埼玉県環境部長との協議を経て、撤去等の事業を実施することとしている。

- ・令和2年度実績  
該当案件なし

#### IV 災害廃棄物の処理支援等に関する事業

- (1) 県との協定に基づく処理支援

該当案件なし

- (2) 災害廃棄物処理支援研修会の開催等

令和2年9月4日      さいたま共済会館      参加者70人

#### V 地方公共団体等からの受託事業

埼玉県からの受託業務として、「県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度に基づく申請書類の審査・受理」及び「産業廃棄物適正処理に関連した実務担当者向けの法制度等の研修会」を実施した。

##### (1) 県外産業廃棄物搬入処理事前協議制度の申請書類受付事務

1) 受託期間 令和2年4月1日～3年3月31日

2) 事前協議等受理件数 (令和3年3月末日現在)

①事前協議等受理件数      380件

一括協議書受理件数      3件

②変更届受付件数      0件

③特例適用届出書受付件数      152件

合計件数      535件

④実績報告書受付件数      4,818件

##### (2) 実務担当者研修会の実施

産業廃棄物の排出事業者、処理業者の実務担当者及び処理業者の新規採用者を対象に、適正処理等を推進することを目的とした研修会を、オンライン方式\*で実施した。\* 法律コースは1回のみ対面方式で実施

1) 法律コース

講師 保科 弘氏 (日本産業廃棄物処理振興センター講師)

令和2年12月11日      さいたま共済会館      受講者20名

上記以外はオンライン実施

2) 安全衛生コース

講師 熊江 隆氏 (日本産業廃棄物処理振興センター講師)

オンライン実施

3) 産業廃棄物処理コース

講師 藤井重雄氏 (日本産業廃棄物処理振興センター・日本廃棄物処理振興センター講師)

オンライン実施

4) 新規採用者フォローアップコース（環境産業合同研修会）

講師 株インソース

令和3年2月16日 オンライン実施 受講者25名

## VI 新型コロナウイルス感染拡大に伴い新たに行った事業

### (1) 全国産業資源循環連合会によるマスク卸売りと当協会による会員向け販売

- ・全国産業資源循環連合会によるマスク卸売り単価 45円/枚
- ・当協会によるマスクの仕入れ枚数 32,000枚
- ・当協会による会員への販売単価 25円/枚
- ・当協会によるマスクの販売枚数 32,000枚

### (2) 当協会による非接触式体温計の会員向け配布

- ・非接触式体温計の全会員への配布 各1個/全397会員
- ・本事業は埼玉県業種別組合等応援補助金による全額補助を受けて実施したもの

### (3) 新型コロナウイルス感染症による処理業への影響に関するアンケート調査

- ・期間 令和2年4月16日～5月12日
- ・対象 会員会社397社
- ・方法 郵送による調査票送付・ファックスによる回答回収
- ・回答 会員企業156社（回答率 39%）
- ・結果 処理業者の8割に影響（受託処理量の減少、事務員の出勤7割削減に未取組等）

### (4) 新型コロナウイルス感染症対策について埼玉県知事あてに要望

- ・内容 処理業許可有効期限の延長、管理票交付状況報告書提出期限等の延長等
- ・期日 令和2年4月30日

### (5) 彩の国「新しい生活様式」安心宣言、埼玉県知事による同宣言の認定

- ・宣言日 令和2年6月17日
- ・認定日 令和2年7月17日

### (6) 県が借り上げた宿泊施設に係る産業廃棄物処理の会員企業による受託の調整

- ・受託 感染性廃棄物焼却施設を有する会員企業4社

### (7) 新型コロナウイルス感染症に関する寄附（青年部会）

- ・目的 新型コロナウイルス感染症流行抑制に係る社会貢献
- ・期日 令和2年7月29日
- ・寄附 金一封（100,000円）

## VII その他の重要事項

- ・「令和3年度埼玉県への施策並びに予算編成に対する要望書」を自由民主党埼玉県支部連合会に提出（9月29日）

要望事項及び対応状況

- ① 廃棄物処理業における新型コロナウイルス感染症対策費用の補助制度創設

について

対応状況 補助制度の創設を県から環境省に要望した（環境部）。

② 産業廃棄物処理業の環境産業へのステージアップ事業の充実について

対応状況 引き続き、ステージアップ事業を推進する（環境部）。

③ 県が造成する産業団地への産業廃棄物処理業者の立地について

対応状況 今後新規事業化する地区においては地元市町村と調整し検討を進めていく（企業局）。